



時事評論家 増田俊男

米中関税戦争中国勝利！

先週末からスイスで行われた米中関税交渉は、あつけなく関税撤廃を求める中国の勝利に終わった。アメリカは対中関税率 145%を 30%に、中国は対米関税率 125%を 10%に、それぞれ 115%引き下げた。

対中 30%の内 20%はフェンタニル(麻薬)密輸に対する制裁だから対中相互関税は 145%から 10%に下げられたことになり、中国が主張する相互関税撤廃がほぼ達成されたことになる。

株価は「期待で買って事実で売る」のはずが、事実の方が期待より良かったので「期待で買って事実でも買う」になり、ニューヨークダウは 1,160 ドル上げて 42,410 ドル、シカゴニッケイ先物は 1,030 円上げて 38,730 円になった。

相互関税に対して、ベッセント財務長官は米中交渉前から現行の対中 145%、対米 125%に最早アメリカは耐えられないと明言していた。

「関税戦争が終わるまで戦う」と中国が言えたのは中国の対関税耐久力が強いからであった。

アメリカの貿易赤字の中で最も多い部分を占める中国に対する相互関税が 10%になったのだから日本をはじめその他の国に対する追加相互関税は相当縮小されるか撤廃される可能性大きくなった。

自らを Mr. tariff(関税男)などと言ったトランプの言うことはいかにいい加減で信用できないかが証明されたことになる。

関税を掛けるアメリカも掛けられる国もメリットはないことが分かっているながら何故大騒ぎの関税なのか。

「汝は優れた男、女の頭を叩き、しかる後に髪を梳いてやる」(ゲーテ)。

トランプ関税の骨抜きで株価は上げたが、債券価格は下がり、10 年物米債の利回りは 4.43%まで上昇している。

6 月 16-17 日の FOMC で再び利下げが先送りになると市場金利がさらに上がり、リセッション恐怖で再び市場は下げ相場になる可能性がある。

今後の株式投資戦略は「インターネット目からウロコの増田塾」で。

※小冊子 Vol.149 は大好評発売中！現在順次発送中！

お申込みはこちら→ <https://www.musrjec.com/>

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.149

『トランプのアメリカを総括する』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 149 は大好評発売中です。

内容は、*日欧と 180 度異なるアメリカ合衆国の本質 *トランプは関税政策でアメリカを偉大に出来るのか *アメリカに黄金時代をもたらすトランプの秘策 *ユニークな日本のユニークな指針 *やがて日本はアインシュタインが言う世界の「駆け込み寺」になるです。価格は、1冊 5,800 円(送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。